

レジテクトはSSSシステム工法協会の

活動を通じて更に発展します！

SSS工法協会は7月4日に開催された第11回定時総会において、名称を【SSSシステム工法協会(通称SSSA)】と改称し、活動をより幅広い分野へ広げていくことを決定しました。

今後協会は従来の会員に加え、無機系材料メーカーの恒和化学工業(株)の参加も決定し、ポリウレタン技術だけでなく、有機無機の特徴を生かした工法・システムの開発もテーマにしております。さらに管理者・発注者など専門家の方々へも参加を呼びかけ、土木・建築に関わる多くの専門家の叡智を出し合い、良質で安全な社会資本を次世代に引き継ぐべく各種工法の提案が出来る協会を目指す事になりました。

【SSSAとレジテクトBNの融合による事業の方向性】

平成9年4月に発足した本協会(当初SSS工法研究会としてスタート)は、地下構造物外防水へのポリウレタンの適用可能性を中心とした研究開発を開始し、東京湾横断道に於ける浮島ジャンクションへの大規模採用をきっかけとして国交省をはじめとし各道路、鉄道などの社会インフラ等で実績を積み上げてきました。ダイフレックスは本協会設立当初からのメンバーとして技術開発に積極的に取り組み、本工法普及の中心的存在の一社として活動し、現在に至っております。

一方レジテクトBNでは加盟会社とともに土木分野に於ける各種構造物の防水・遮水・表面保護・防食等を目的とした機能材・用途の開発を行い、本分野での事業の創出に取り組み、ご存知の通り官民共に幅広い発注者様からのご理解とご支持をいただくまでに成長してまいりました。

これらの状況を踏まえ、また我が国における土木構造物市場を展望した場合、今後の我々の目指す方向として、メンテナンス(Stock Repair)、技術提案手法(Technical Engineering)、差別化(Differentiation)ScCSキーワードを活用したビジネスモデルの推進が必要と判断されます。このためには現在までのレジテクトの専門的技術蓄積と、SSSが取り組んできた協会活動を融合していくことが最大のシナジー効果を発揮し、本モデルの実現を図る最短の手法と考えます。

我が国の社会資本の安心・安全を守り、良質な資産として次世代に引き継ぐことが我々に求められる最大の使命であることは論を待ちませぬが、レジテクトがSSSAと一体となり活動することでこの一翼を担うとともに、加盟各社の事業が益々発展することを確信いたしております。本事業の方向性についてのご理解を賜り、従来に増して積極的なお取り組みをくださいますようお願い申し上げます。

株式会社ダイフレックス

レジテクト本部長 増田健康